

「用」と「美」の合一を追究する®



製品について

●製品・取付上のご注意

- ①経時変化に伴い色の变化が生じる場合があります。生成色は、色合いの変化が顕著な場合があります。
- ②色調・風合いなどにおいて、原材料に起因するばらつきが生じる場合があります。
- ③カタログの印刷された写真と実際の製品とでは、色・質感において異なる場合があります。
- ④製品の仕上がりサイズには多少の誤差が生じる場合があります。また製品には伸縮が発生する場合があります。（※製品の伸縮について 参照）
- ⑤座敷簾・神社仏閣用 御簾の縁は、シワが出る場合があります。
- ⑥高温多湿・水に濡れることが予想される場所へは取付をしないでください。カビが生える場合があります。
※製品には防カビ加工を施していますが完全ではありません。予めご了承ください。
- ⑦特有のニオイが発生する場合がありますが、これは主原料である天然素材と染料のニオイによるためで人体に害を与えるものではありません。
経時変化にもなってニオイは薄れていきますが、気になる場合はできるだけ換気をしていただくことをおすすめします。
※カタログ名「いにしえ」の柿渋系には、柿渋本来の持つ独特のニオイがあります。
- ⑧製品の取付時には、付属の説明書をご確認ください。特に下記の点についてはご注意ください。
 - ・製品に付属の取付金具や、ブラケットの取付用ネジなどは木部用です。木部以外には使用しないでください。
 - ・製品の取付下地の強度や材質を確認し、ブラケット・取付金具などの取付数量と取付位置を守り、製品は水平に確実に取付してください。
 - ・確実に下地に取付が出来ていない場合、製品が水平に取付できていない場合は、落下・巻きスリなどの原因となります。
- ⑨製品は全て屋内用です。屋外へは取付をしないでください。特に下記の点については予めご了承ください。
 - ・御簾を軒下などの半屋外に取付する場合は、経時変化による損傷は室内に比べて早くなり金具などもサビなどが発生する場合があります。
 - ・取付時には、サビなどに強い金具や番線などをご用意ください。製品を確実に固定し、金具・取付場所・製品の劣化などの定期点検を実施してください。
 - ・台風などの風の強い場合は、必ず製品を取り外して安全な場所に保管してください。製品が長持ちします。
 - ・高所への取付は避けてください。製品の取付位置は、製品が落下しても安全を確保できるかどうかを十分に検証してください。
- ⑩製品の仕様・価格・意匠は品質改良や物価の変動などにより、予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
- ⑪カタログに記載されている表示価格は、消費税を含まないメーカー希望小売価格です。採寸・取付・工事費などは含まれておりません。

●使用上のご注意

- ①小さなお子様を各昇降タイプの操作コードや、オプションの金具のチェーンやテープ・紐・鈎丸・丸鈎などで遊ばせないでください。
同様に、各昇降タイプの操作やオプションの金具のチェーンやテープ、御簾・各座敷簾の巻き上げなどの操作もさせないでください。
御簾・各座敷簾の鈎丸・鈎・丸鈎などが体に巻きついたり、手足に引っかかるようなことをしないでください。思わぬ事故の恐れがあります。
特に体の不自由な方や、小さなお子様か首をかけないように、十分にご注意ください。
- ②下記の点に特にご注意ください。製品の落下や故障、破損の原因となります。
 - ・製品に物を吊り下げたり、ぶら下からないでください。各昇降式の操作時には、生地・パイプ・ウエイトバーを持たないでください。
 - ・急激な巻き上げや無理な巻き上げは絶対にしないでください。また製品は決められた製品高(H)の範囲でご使用ください。
 - ・各昇降式・御簾・各座敷簾などの巻き上げの範囲内に破損の恐れがある物や、操作の障害となる物を置かないでください。
 - ・高温多湿・火のそば・加湿器の周辺などでは、ご使用にならないでください。風の強いときは窓を閉め、製品に当たらないようにしてください。
- ③製品の取付状態など、定期的にご確認をしてください。
 - ※メカ部の分解や可動部への注油はおやめください。
 - ※製品が汚れた場合は、ハタキなどでホコリを落とすとしてください。水分を含んだタオルなどでは拭かないでください。
- ④製品に異常が見つかった場合は、ただちに取り外してご使用をお止めください。
- ⑤製品の端部や突起物にはご注意ください。

●製品(すだれ)の伸縮について

- ①基本的に夏場は縮み、冬場に伸びるという現象が生じやすいと考えることができますが、製品の設置場所の環境によっても左右される場合が多く、夏でも乾燥している場所であれば伸び、冬でも湿度の高い場所では縮む場合があります。特に条件の激しい場合は一日の朝晩でも丈の長さが変わってきます。
※縮む現象 ；降雨時・高湿度の時は、生地・編糸に水分が含まれることで膨張し、縮む現象が発生します。（特に梅雨の時期）
※伸びる現象：好天時・乾燥の時は、水分が抜けて生地・編糸が収縮し、生地重量も併せて伸びていきます。
 - ②商品の到着後は梱包時の<折り癖>によって、高さが多少短くなっている場合があります。
御簾・各座敷簾を長い間上げた状態の場合も、<折り癖>によって高さが多少短くなっている場合があります。
 - ③製品は最終的には丈が2～5%程度伸びていく方向にあります。当社はmm単位からのオーダーをお受けしておりますが、天然素材を使用したすだれ特有の性質により、指定サイズの誤差が生じる場合があります。製品の丈伸び(※)につきましては、出荷日より一年以内であれば、当社に送って頂けると無償で丈調整いたします。(50mm以上伸びた場合に限りませ)
- 送料別途・工場での修理対応となります。現場での対応は出来ませんので、ご了承ください。
以上の理由から、「製品は伸縮し変形しやすい」「製品の左右で丈が異なる」「弓状に反る」など、年間を通じて安定することは難しい性質を持った製品です。そのため、製品全般ではゆがみ・ねじれなどが生じる場合があります。

●防災商品

当社は消防庁長官が認定した製造業者です。防災規制を受ける防火対象物には、必ず防災加工を施した品番をご使用ください。 認定番号 A E-27-0064

●防災加工について

製品に使用している木(竹)材料には、防災品のみ防災加工が施されています。この防災済自体は、気候・温度・湿度などによって、潮解現象(固体が空気中の水分を吸収して溶解する現象)を起こす場合があります。商品(生地)の表面が白く粉をふいたような状態になる場合があります。

●販売

- ①カタログ名「シェード&スクリーン」:各代理店様を通じての販売となります。※スタレ生地は、場合により直接のお取引にて対応しております。
- ②カタログ名「いにしえ」 :各代理店様を通じての販売となります。※スタレ生地は、場合により直接のお取引にて対応しております。
- ③カタログ名「源氏」 :各代理店様を通じての販売となります。※御簾・スタレ生地は、場合により直接のお取引にて対応しております。

●運賃/配送

運賃は別途必要となります。(現場宛、個人様宛、一部地域、指定便は対応できない場合があります。
詳しい内容については、お問い合わせください。

出荷日には責任を持ちますが、着日につきましては当社では責任を持ってませので、納品には余裕を持ってくださるようお願いいたします。

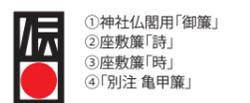
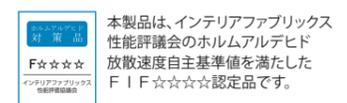
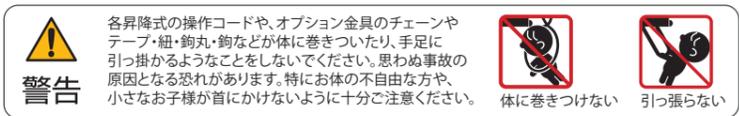
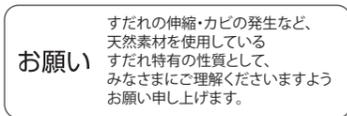
●保証期間

商品の到着後、直ちに製品の数量・仕様及びキズ・破損等を必ずご確認ください。万一損傷がある場合には、到着後1週間以内にご連絡ください。
この期間以降のクレームはお受けできない場合がありますのでご了承ください。天然素材本来の自然なキズなどは、ご容赦ください。
商品の保証期間は工場出荷日より1年間です。この期間中に製品の欠陥により損傷が生じた場合には、無償にて修理させていただきます。(消耗品は除きます)
これ以外については実費にての修理となります。

※工場への返品・工場での修理対応になります。現地での対応は致しかねます。ご了承ください。

以下の条件に起因する場合には、当社はその責を負いかねます。

- ①直射日光・自然環境・経時変化・特殊環境・冷暖房等の電気製品などによる変形・変色。
- ②納品後の移動・輸送、不適切な取り扱いや、不注意により生じた破損・故障。
- ③特注加工品



井上スダレ株式会社

〒586-0086 大阪府河内長野市天野町1014-1 TEL 0721-53-2581 FAX 0721-54-6506 <http://www.sudare.co.jp>

すだれ資料館 TEL 0721-53-1336 FAX 0721-54-6506 <http://www.sudare.com>



伝統マーク®
承認番号19-150

GENJI

Traditional Sudare

・御 簾

・亀 甲 簾

・座 敷 簾

「詩」

「時」

「小 紋 座敷簾」

「こもれ 座敷簾」

「風 雅 座敷簾」

ISUCO

トラディショナル スダレ「源氏」 カタログ Vol.8.5

源氏

GENJI

Traditional Sudare

古来より伝わる「神社仏閣用・御簾」
 亀甲柄で織り上げる希少な「亀甲簾」
 簾職人の伝統技術が活きる「時」と「詩」
 現代風にアレンジした
 「風雅座敷簾」と「こもれ座敷簾」
 「源氏」は日本の伝統と美しさを大切に、
 空間を荘厳に包み込みます。



夕間暮れ 小簾の間ととる月影は
 くまなきよりも あわれなるかな ※2

君待つとわが恋ひをれば わが屋戸の
 すだれ動かし 秋の風吹く ※1

※1 訳) あの方をお待ちして 恋しい気持ちしていると
 我が家の簾を動かして 秋の風が吹いています。
 (額田王/万葉集)

※2 訳) 簾越しの月影は 煌々たる月よりも
 むしろ趣があった。
 (鶴ヶ岡放生会職人歌合より)



簾は我々日本人にとって馴染み深く、古くは宮中などで使用されていたことから数々の歌に詠まれてきました。簾には暗い室内から明るい外を見るときよく見え、逆に明るい所から暗い室内は見えにくいという特性があります。「源氏物語絵巻」には、貴族の男女が簾越しに異性を観察している様子などが描かれています。簾の掛けられた空間は、外部に対して開かれていながらも、外部からの侵入を心理的に拒否する屏障具(調度品)でした。そのため、平安貴族にとって簾に囲まれた世界は、精神的な安らぎをもたらす空間であったと想像できます。

現代の住宅は空調設備が完備され、簾の代わりにカーテンが主流となり、その存在が忘れられつつあります。しかし私達日本人が古来から慣れ親しんできた簾には、機能だけではない心情的な面を持ち合わせていて、それは現代社会に生きる私達に安らぎを与えてくれる存在なのです。



すだれ資料館

当社では、簾を後世に伝承するため平成16年に「すだれ資料館」を設立しました。資料館には、我が国で継承されてきた伝統的な製法による簾や、歴史的に価値のある国内外の簾、貴重な道具・機械などを展示しています。また、簾の伝統的製造技術を次世代に受け継いでいくために後継者の育成にも精力的に取り組んでいます。

大阪金剛簾

昭和60年に「金剛簾」として大阪府知事から「大阪の伝統工芸品」指定を受けました。平成6年に大阪府知事認可「大阪簾工業協同組合」を設立し、「大阪金剛簾」として平成8年には経済産業大臣の「伝統的工芸品」指定を受け現在に至っています。



伝統マーク



伝統マーク®
 承認番号19-150

経済産業大臣指定伝統的工芸品の大阪金剛簾は、伝統マーク対応です。伝統マークは、伝統の「伝」の字と日本の心を表す赤丸を組み合わせたものです。神社仏閣用「御簾」、座敷簾「詩」、座敷簾「時」、「別注 亀甲簾」は伝統マーク対応品です。



JT-01/G-2

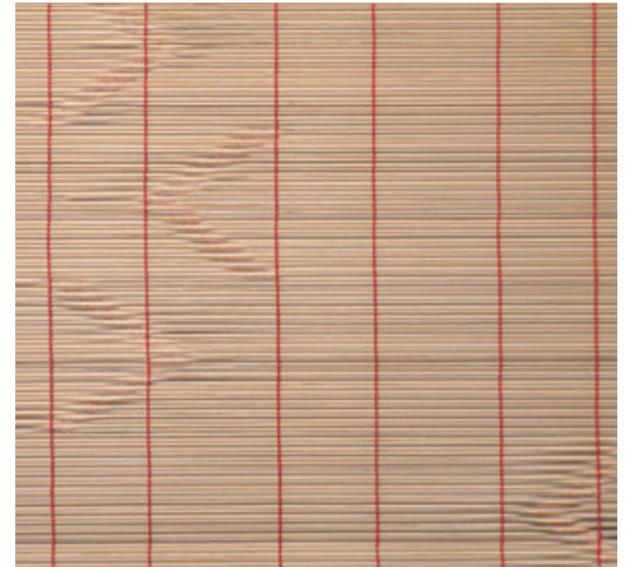
じんじやぶのかくよう みす
 神社仏閣用・御簾は、仏教文化と共に登場したと伝えられ、平安時代の貴族の生活空間である寝殿造りの調度品として発達をとげました。
 なかでも神を祀る社殿、仏閣では重要な屏障具として用いられていました。
 神聖な場所である神社仏閣や天皇家の重要な儀式が行われる宮中賢所など、大嘗祭の行われた悠紀殿・主基殿すべてに御簾が掛けられていました。
 現在では神社仏閣の他に結婚式場など公共の施設などにも、日本の伝統簾が空間を雅びやかに演出します。

※「神社仏閣用・御簾」は、ご指定いただければ防災認定番号を取得した防災加工が可能です。

※「神社仏閣用・御簾」は、伝統的工芸品となります。



生成



■ JT-01 (一本返し竹編み)

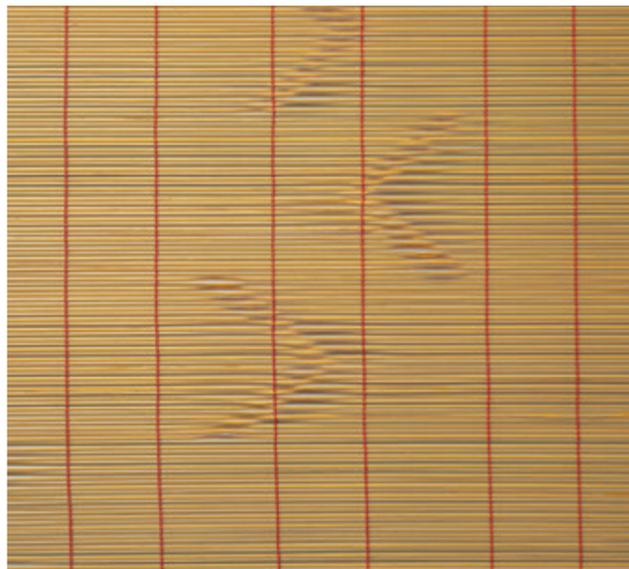


■ JT-02 (表揃え竹編み)

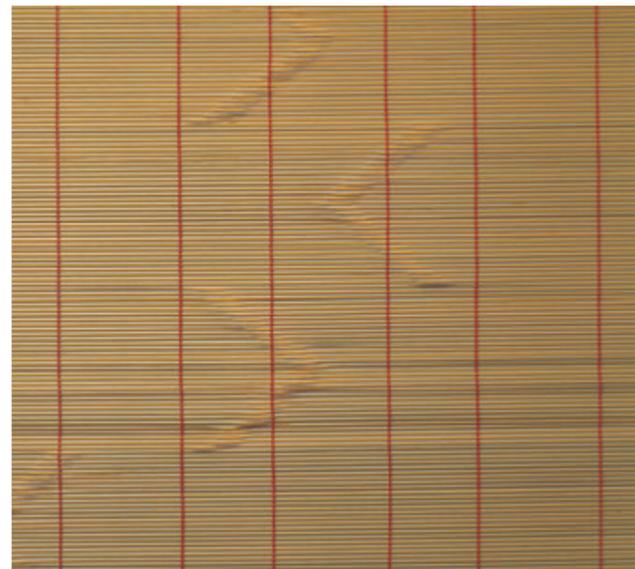


JT-03 / G-1

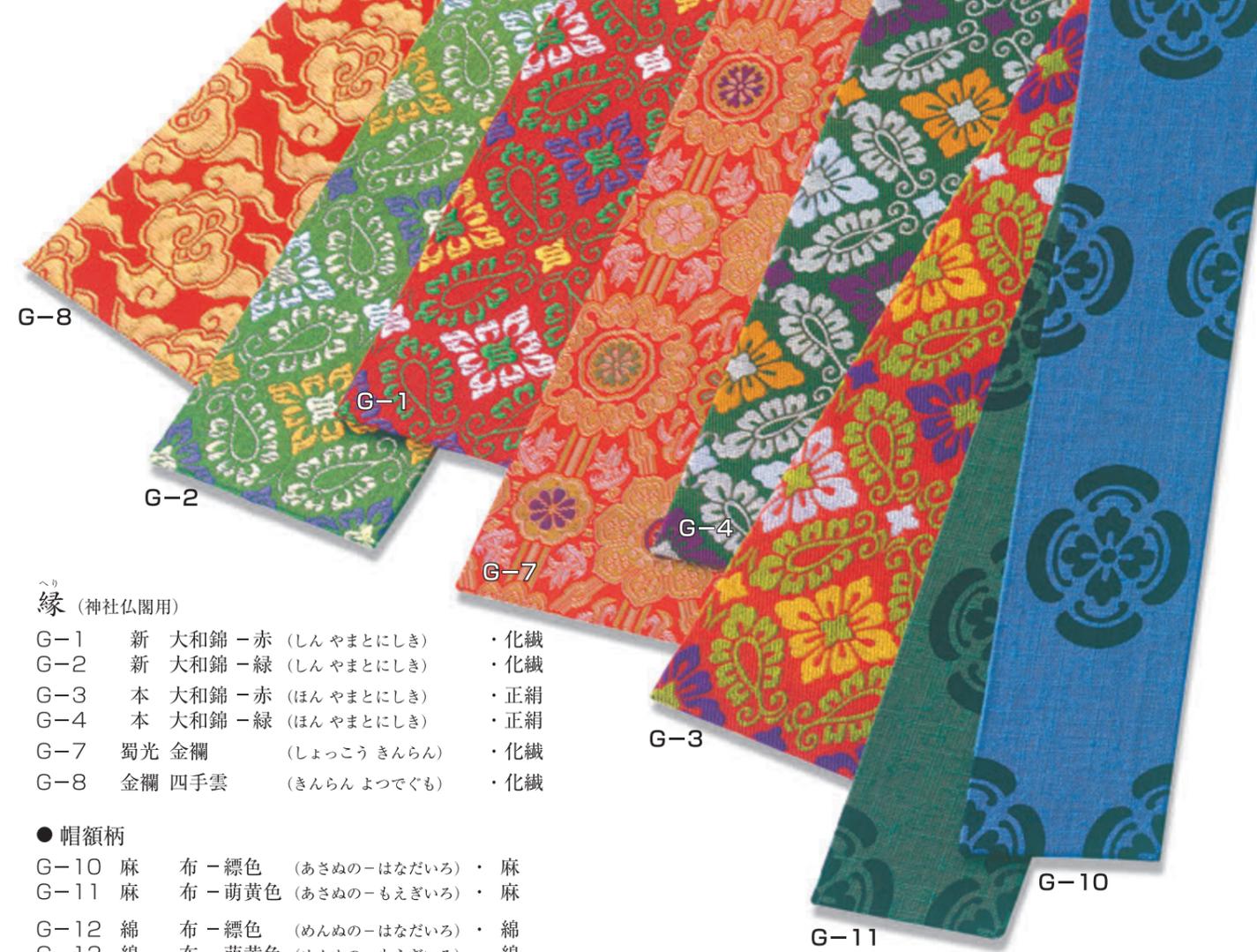
黄 染



■ JT-03 (一本返し竹編み)



■ JT-04 (表揃え竹編み)



へり 縁 (神社仏閣用)

- | | | |
|-----|-----------------------|-----|
| G-1 | 新 大和錦 - 赤 (しん やまとにしき) | ・化繊 |
| G-2 | 新 大和錦 - 緑 (しん やまとにしき) | ・化繊 |
| G-3 | 本 大和錦 - 赤 (ほん やまとにしき) | ・正絹 |
| G-4 | 本 大和錦 - 緑 (ほん やまとにしき) | ・正絹 |
| G-7 | 蜀光 金襴 (しょっこう きんらん) | ・化繊 |
| G-8 | 金襴 四手雲 (きんらん よつでぐも) | ・化繊 |

● 帽額柄

- | | | |
|------|-------------------------|-----|
| G-10 | 麻 布 - 縹色 (あさぬの-はなだいり) | ・麻 |
| G-11 | 麻 布 - 萌黄色 (あさぬの-もえぎいろ) | ・麻 |
| G-12 | 綿 布 - 縹色 (めんぬの-はなだいり) | ・綿 |
| G-13 | 綿 布 - 萌黄色 (めんぬの-もえぎいろ) | ・綿 |
| G-14 | テトロン - 縹色 (テトロン-はなだいり) | ・化繊 |
| G-15 | テトロン - 萌黄色 (テトロン-もえぎいろ) | ・化繊 |

もこう 帽額

帽額は御簾の上部に取り付けられた縁の種類のひとつで、帽額の柄は中国の漢民族の間で使用される図柄です。これは鳥の巣の卵を抱擁した形を表現したものです。

古代の人にとって鳥は神に願望を届ける聖なる存在であり、その鳥の卵の模様は聖なるシンボルでもありました。

◎神社仏閣用 御簾は、都度のお見積りとなります。下記の項目をご指示ください。

- | | |
|----------|----------|
| 1. 生地品番 | :例)JK-03 |
| 2. 縁 品番 | :例)G-1 |
| 3. 防炎の有無 | :例)なし |
| 4. W×H | |
| 5. 台数 | |



亀甲簾



JK-03

特殊な編み方を要する亀甲編み^{きっこう}は、今も全て手作業によるもので、織りあがるまでには大変時間のかかる簾です。通常は長い時間をかけて製作する亀甲簾ですが、当社では短納期で製作できる「亀甲簾」を開発しました。亀甲柄がもたらす今までにない意匠が空間を彩ります。

※「亀甲簾」は、ご指定いただければ防災認定番号を取得した防災加工が可能です。

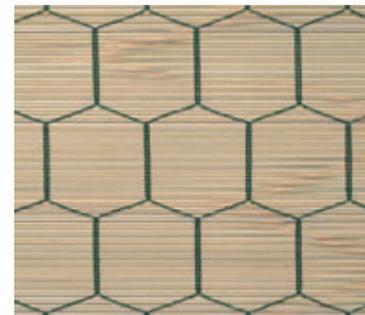
生成・一本返し竹編み



■ JK-01 (編糸：赤)



■ JK-02 (編糸：紫)



■ JK-03 (編糸：緑)

黄染・一本返し竹編み



■ JK-04 (編糸：赤)

◎亀甲簾は、在庫限りの販売となります。ご注文時には在庫のご確認をお願いします。

別注 亀甲簾

「別注 亀甲簾」は、専門の簾職人が菰桁(こもけた)と呼ばれる専用の道具を使用し、〈分編み〉という技法で亀甲柄を織り上げていきます。亀甲柄を織る技法には京都式と江戸式があり、当社では技術的には難しく大変な手間を要する京都式を採用しています。熟練の職人でも1日に数センチ程度しか織り上げることができないほど手間暇をかけ、シャープな亀甲柄を表現しています。フルオーダーメイドの「別注 亀甲簾」は、最高級の簾として、その存在が空間を際立たせます。

※「別注 亀甲簾」をご注文の際は、当社営業部まで、お問合せください。

※「別注 亀甲簾」は、ご指定いただければ防災認定番号を取得した防災加工が可能です。

※「別注 亀甲簾」は、伝統的工芸品となります。



座敷簾



YU-11 / H-70

ざしきすだれ
座敷簾は、武家や階級貴族のみに許され、一般での使用は禁じられていた神社仏閣用・御簾とは異なり、明治維新と共に階級制度が打破され簾の使用も自由となった明治20年頃に、一般向けとして考案された簾です。
神社仏閣用・御簾と比べて装飾は控えめな座敷簾は、静かに和の空間に格調高く調和します。

- ※ 座敷簾の「詩」・「時」は、ご指定いただければ防災認定番号を取得した防災加工が可能です。
- ※ 座敷簾の「詩」・「時」は、伝統的工芸品となります。



YU-21 / H-75

「詩」

生成・二分布 一本返し竹編み



- YU-11 (一節揃え) 編糸：うぐいす
- YU-21 (二節揃え)

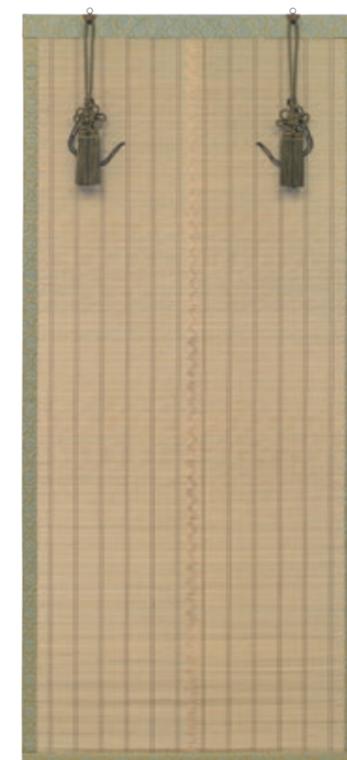


- YU-12 (一節揃え) 編糸：白
- YU-22 (二節揃え)

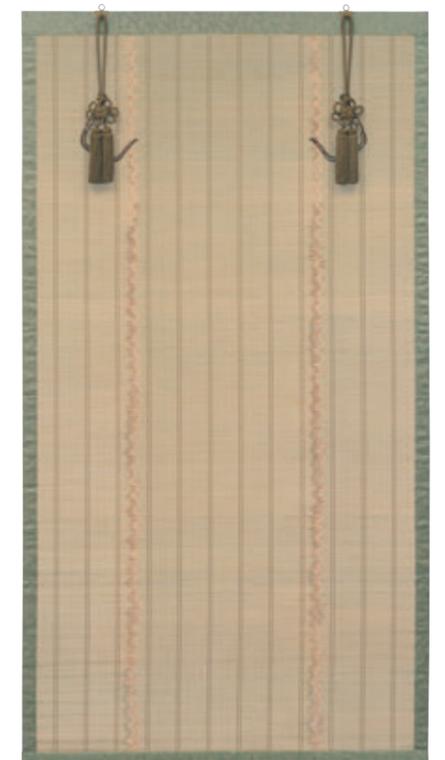


- YU-13 (一節揃え) 編糸：茶
- YU-23 (二節揃え)

※ 「詩」の標準の編み方は、一本返し竹編みですが、表揃え竹編みも製作可能です。



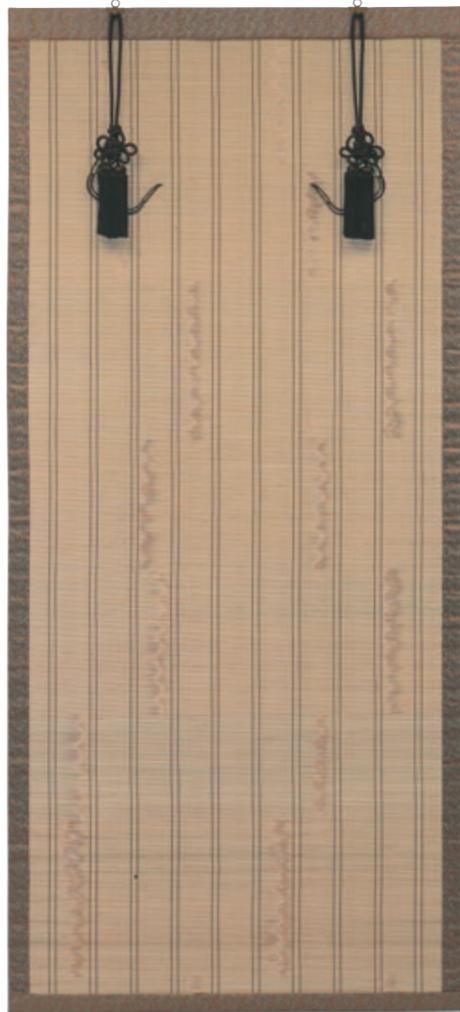
● 一節揃え (W450~960まで)



● 二節揃え (W855~960まで)



生成・四分布 一本返し竹編み



●さざなみ節揃え



■ YT-11 (編糸：うぐいす)



■ YT-12 (編糸：白)



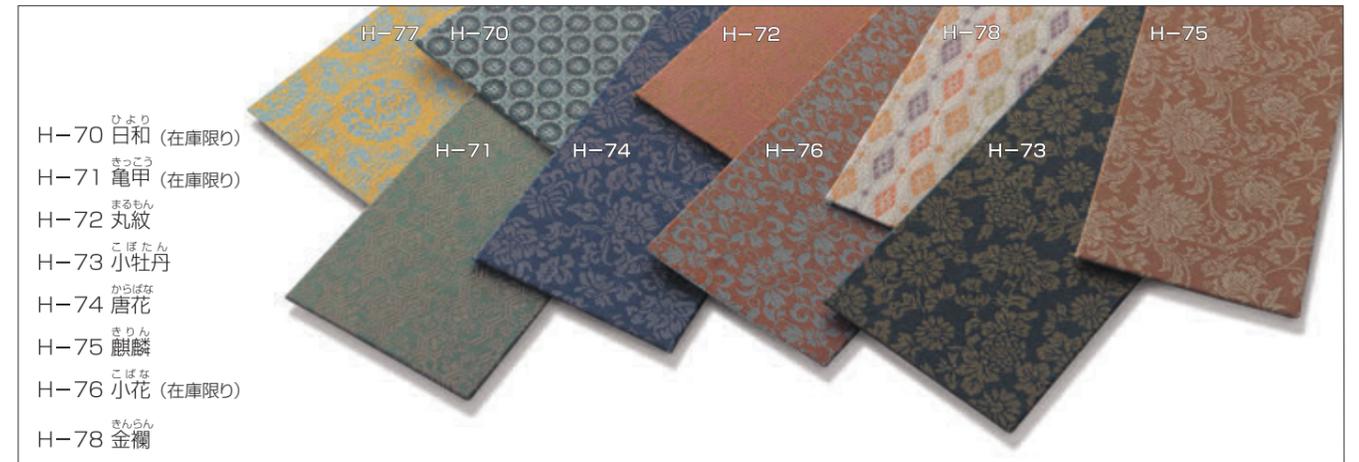
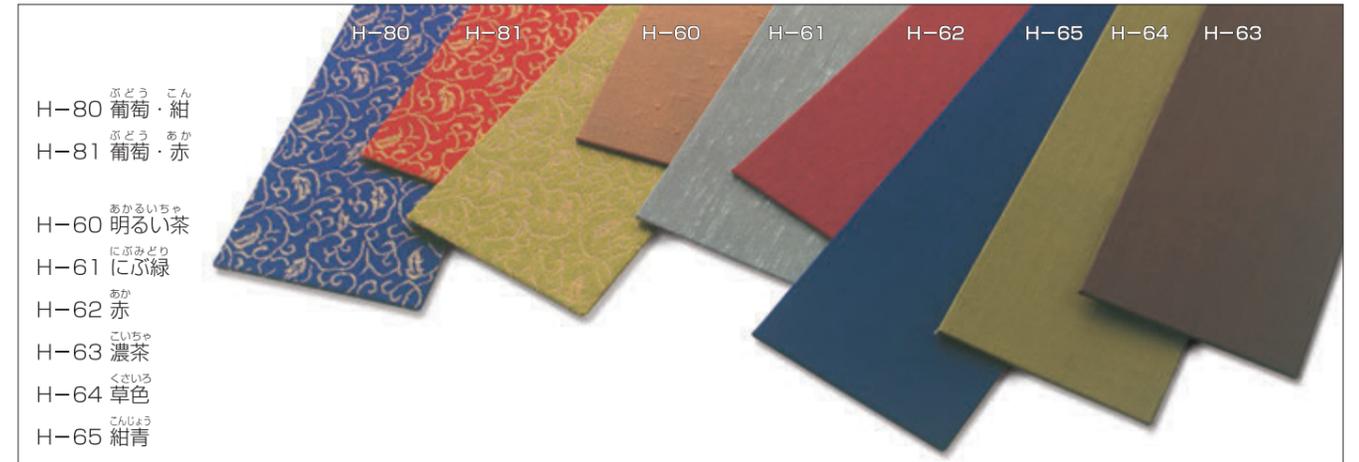
■ YT-13 (編糸：茶)

※「時」の標準の編み方は、一本返し竹編みですが、表揃え竹編みも製作可能です。

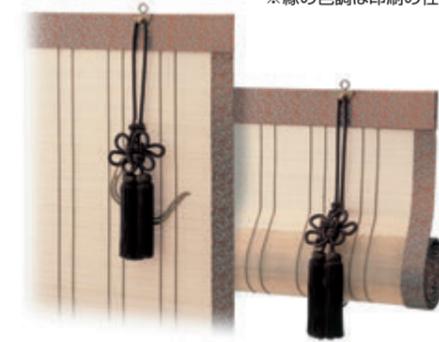


YT-12 / H-71

縁(亀甲簾・座敷簾用)



巻上げ方法



※写真は、風雅 座敷簾です。

◎縁について
H-70、H-71、H-76は在庫限りの販売となります。
他の品番につきましても、ご注文時には在庫のご確認をお願いします。
※縁の色調は印刷の性質上、実際とは異なる場合もあります。

取付金具



商品の色調は印刷の性質上、実際とは異なる場合があります。



小紋座敷簾



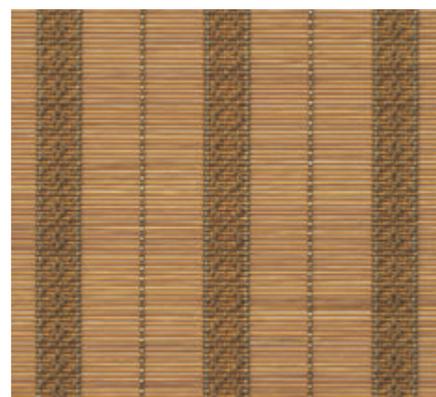
KOMON-pattern Sudare

小こもん紋



こもん ざしきすだれ
小紋 座敷簾は、規則正しい単柄の模様を繰り返して織り上げるドビー織をスダレに施し、独特の立体感と風合いを表現した簾です。また、織り糸の一部に金糸をアクセントとして使いさり気ないお洒落を演出しました。

竹ヒゴのサイズ：φ1.2mm



MO-11 (薄茶) ※旧 MO-01



MO-12 (濃茶) ※旧 MO-02



MO-13 (黒茶) ※旧 MO-03

こもれ座敷簾

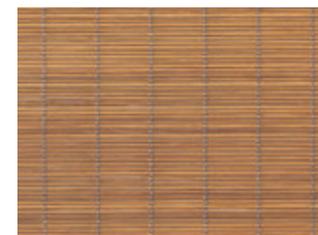


こもれ ざしきすだれ
こもれ 座敷簾は、材料と編み糸を従来のものより細くすることで、繊細さを表現しています。また、意匠的にスラットを一定間隔に配することにより、伝統の中にモダンを取り入れた新しい空間を創りだします。

竹ヒゴのサイズ：φ1.2mm
竹スラットのサイズ：6mm×t1.2mm



KM-21 (生成) ※旧 KM-10



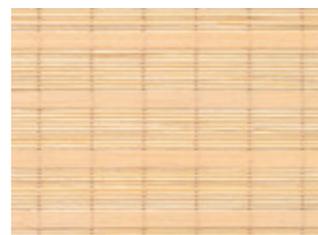
KM-22 (薄茶) ※旧 KM-11



KM-23 (濃茶) ※旧 KM-12



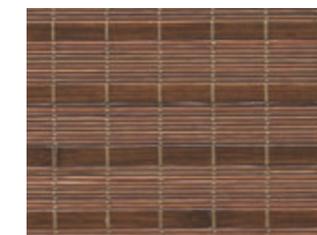
KM-24 (黒茶) ※旧 KM-13



KM-31 (生成) ※旧 KM-14



KM-32 (薄茶) ※旧 KM-15



KM-33 (濃茶) ※旧 KM-16



KM-34 (黒茶) ※旧 KM-17

風雅座敷簾

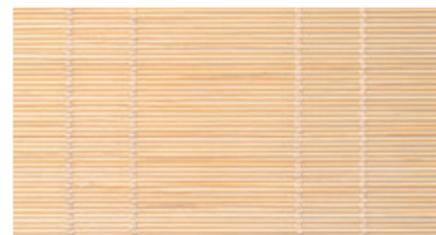


風雅 fuga



ふうが ざしきすだれ
風雅 座敷簾は、本格的な座敷簾の味わいを現代風にアレンジし、商業施設などの多様性に合わせた簾です。細部に「詩」・「時」と同じ部材を使用することで、座敷簾として上品で高級感のある空間を演出します。

竹ヒゴのサイズ：φ1.5mm



FU-4 1 (生成) ※旧 FU-31



FU-4 2 (生成) ※旧 FU-32



FU-4 3 (薄茶) ※旧 FU-36



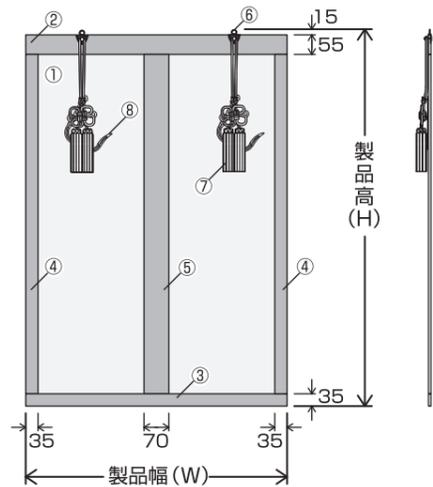
FU-4 4 (濃茶) ※旧 FU-34



FU-4 5 (黒茶) ※旧 FU-37

■ 亀甲簾、各座敷簾 / 仕様と構造

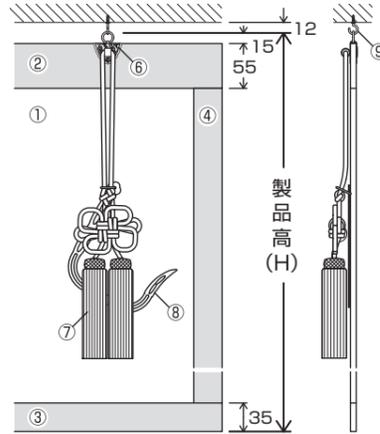
※図は中縁一本入の参考図です



- ①品番：
 ・詩 (YU-11~13, YU-21~23)
 ・時 (YT-11~13)
 ・亀甲簾 (JK-01~04)
 ・座敷簾 小 紋 (MO-11~13)
 ・座敷簾 こもれ (KM-21~24, KM-31~34)
 ・座敷簾 風 雅 (FU-41~45)

- ②上 縁 :55mm
 ③下 縁 :35mm
 ④立 縁 :35mm
 ⑤中 縁 :70mm(時・詩は入りません)
 ⑥吊金具
 ⑦鉤丸
 ⑧鉤
 ⑨取付金具:図は洋灯吊使用例

●詳細図



⑥吊金具(ゆきわセット)

形状	色名
ゆきわ	宣徳色
つぼ	
ふた	

⑧鉤(こ)

形状	色名	製品H	鉤の有無
	宣徳色	~600	無
	銀古美色	~2400	有

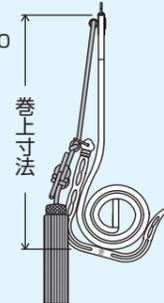
⑦鉤丸(こまる)

形状	色名	製品H	鉤丸L
	朱 赤 むらさき うぐいす 茶	~350	250
		~400	300
		~450	350
		~600	400
		~2100	500
		~2200	600
~2300	600		
~2400	700		

●巻上図

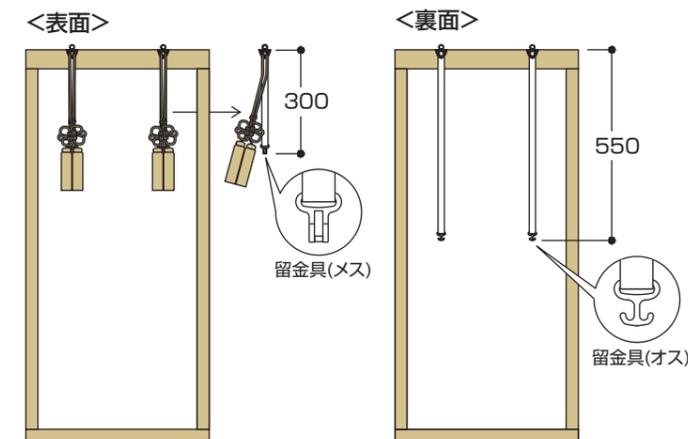
- <巻上方法>
 ①座敷簾の下端から、丁寧に巻き上げます。
 ②座敷簾を鉤に乗せて、固定してください。

<巻上寸法の目安>
 鉤丸L400 →≒380



オプション:巻上テープ

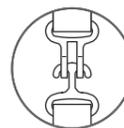
<鉤>の代わりに<真田紐>に金具を取り付けた<巻上テープ>で、巻上げた座敷簾を固定するオプションです。座敷簾を巻上時、窓面などに鉤が接触する場合、あるいは鉤の接触を回避する場合などにおすすめです。



●巻上寸法 ≒400(鉤丸L400の場合)
 H寸法・鉤丸Lによって変動します。(ご指示いただくことも可能です)

●連結の仕方

- ①製品の下部を、下から手で丁寧に巻き上げます。
 ②製品の表面の巻き上げます。
 ③テープの留金具(オス)を製品の裏面にくぐらせて、留金具(メス)に差込み連結して固定します。



※上図は、鉤丸L400の場合です。
 ※巻上テープの色は、茶色のみとなります。

■ 亀甲簾、各座敷簾 / 発注方法

●ご注文の際には、<製品について>をご覧になった後、下記の事項をご連絡ください。

①商品名	例① 詩
②簾生地品番	例② YU-21
③防災の有無 ※座敷簾「詩」「時」「亀甲簾」のみ(小紋・こもれ・風雅は防災加工済) ※防災加工の場合は、単価UPとなります。	例③ 有
④縁の品番	例④ H-75
⑤鉤丸(こまる)の色	例⑤ うぐいす色
⑥鉤(こ)の色 ※~H600までは、鉤のご指定は不要です。~H600までの場合で、鉤が必要な場合はご指定ください(料金別途)。 ※オプションの巻上テープを希望される場合は、ご指定は不要です。 ※ご指示のない場合は宣徳色となります。	例⑥ 宣徳色
⑦サイズ(W×H) ※W:H=1:3以内がおすすめです。幅狭で高さがあるサイズは変形しやすい場合があります。	例⑦ 950×1800
⑧台 数	例⑧ 1台
⑨取付位置(天井付・正面付) ※オプション取付金具で取付される場合は、明記不要です。	例⑨
⑩取付高	例⑩ 1900
⑪鉤丸の長さ ※ご希望の長さがあれば、ご指示ください。(調整可能範囲があります)	例⑪
⑫巻上寸法 ※ご希望の巻上寸法があれば、ご指示ください。(調整可能範囲があります)	例⑫ 巻上寸法500
⑬オプション取付金具の有無(名称・数量)/オプション巻上テープの有無 ※標準では洋灯吊が付属しています。	例⑬ 自在長押(宣徳色)×2個

■ 亀甲簾、各座敷簾 / サイズ表①

●各座敷簾の価格について

都度の御見積となります。詳しくは営業部までお問い合わせください。

座敷簾「詩」

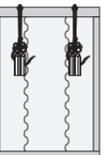
●一本返し 一節揃え

品番	中縁本数	中縁なし
YU-11~13	製品W	450~960
	製品H	250~2400
鉤丸・鉤 標準数		2本
取付金具 標準数		2個



●一本返し 二節揃え

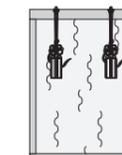
品番	中縁本数	中縁なし
YU-21~23	製品W	855~960
	製品H	250~2400
鉤丸・鉤 標準数		2本
取付金具 標準数		2個



座敷簾「時」

●一本返し さざなみ節揃え

品番	中縁本数	中縁なし
YT-11~13	製品W	450~960
	製品H	250~2400
鉤丸・鉤 標準数		2本
取付金具 標準数		2個



■ 亀甲簾、各座敷簾 / サイズ表②

※表示価格は消費税を含まないメーカー希望小売価格です。

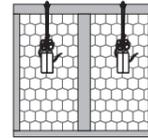
●各座敷簾の価格について

都度の御見積となります。詳しくは営業部までお問い合わせください。

「亀甲簾」

品番	中縁本数	中縁1本	中縁2本	
JK-01~04	製品W	600~1200	~1500	~1800
	製品H	250~2400	250~2400	
鉤丸・鉤 標準数		2本	2本	2本
取付金具 標準数		2個	2個	3個

■標準仕様



○亀甲簾(JK-01~04):在庫限りの販売となります。ご注文時には在庫のご確認をお願いします。

○別注亀甲簾:詳しくは弊社営業部までお問い合わせください。

座敷簾「小 紋」

品番	中縁本数	中縁1本	中縁2本		中縁3本
MO-11~13	製品W	600~1500	~1800	~2400	~2700
	製品H	250~2400	250~2400		250~2400
鉤丸・鉤 標準数		2本	2本	3本	4本
取付金具 標準数		2個	3個		4個



座敷簾「こもれ」

品番	中縁本数	中縁1本	中縁2本		中縁3本
KM-21~24	製品W	600~1500	~1800	~2400	~2700
	製品H	250~2400	250~2400		250~2400
KM-31~34	製品W	600~1500	~1800	~2400	~2700
	製品H	250~2400	250~2400		250~2400
鉤丸・鉤 標準数		2本	2本	3本	4本
取付金具 標準数		2個	3個		4個



座敷簾「風 雅」

品番	中縁本数	中縁なし	中縁1本		中縁2本
FU-41~45	製品W	600~900	600~1500	~1800	~2400
	製品H	250~2400	250~2400		250~2400
鉤丸・鉤 標準数		2本	2本	3本	3本
取付金具 標準数		2個	2個	3個	3個



■オプション取付金具

折釘 (おれくぎ)	二重折釘 (にじゅうおれくぎ)	乙 鉤 (おつかぎ)	箱長押(はこなげし)		自在長押(じざいなげし)	
			宣徳色	銀古美色	宣徳色	銀古美色
¥400/個		¥600/個	¥3,000/個	¥5,000/個	¥5,000/個	¥7,000/個

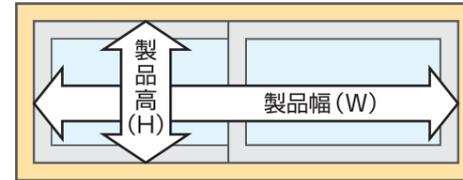
○箱長押(銀古美色)、自在長押(銀古美色):在庫限りの販売となります。ご注文時には在庫のご確認をお願いします。

■オプション巻上テープ

~W1800 (2本)	~W2400 (3本)	~W2700 (4本)
¥6,000/台	¥8,000/台	10,000/台

■採寸方法①

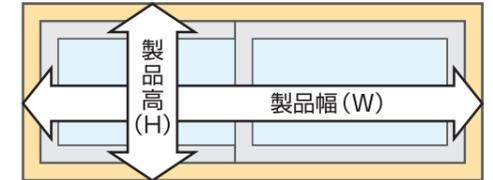
●窓枠の内側に取付する場合



①製品幅(W)=窓枠の内側寸法-隙間寸法(8~10mm以上)

②製品高(H)=窓枠の内側寸法-取付金具H-隙間寸法

●窓枠の外側に取付する場合



①製品幅(W)=窓枠の外側寸法(両端に障害物がない場合)
※障害物がある場合は、障害物より片側4mm以上を差し引いてください。

②製品高(H)=窓枠の外側寸法
※床などの接地面がある場合は、隙間寸法を差し引いてください。

●製品高(H)の隙間寸法の目安

取付高	隙間寸法	表を参考にして、設置面からの取付高の寸法に準じた隙間寸法を差し引いてください。
~1200	10mm以上	
~2400	15mm以上	取付金具の寸法は、採寸方法②の項目を参考にして、隙間寸法とは別に差し引いてください。

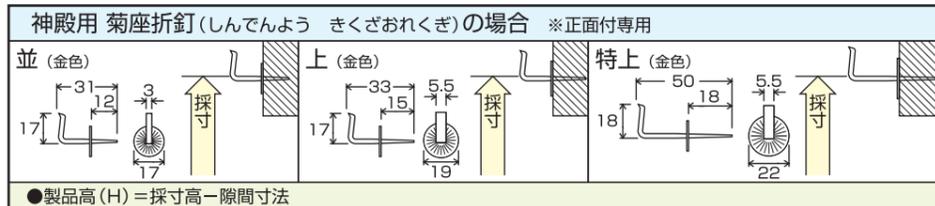
●採寸方法の注意点

- ①製作寸法は、W:H=1:3以内がお勧めです。1:3を超える場合は安定しない場合があります。
- ②連装される場合は、製品と製品の間4~5mm以上の隙間寸法を推奨します。
- ③巻き上げたり下げたりすることが多い場合などは、製品と製品間の隙間寸法を多めに取られることをおすすめします。
- ④製品Hは、吊金具を含んだH寸法です。取付金具は含んでおりません。(採寸方法②を参照)ご注文時は、取付金具を差し引いた寸法をご指示ください。

●製品高(H)の計算方法

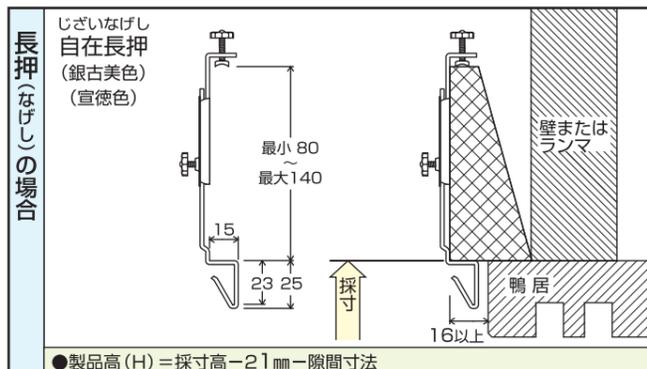
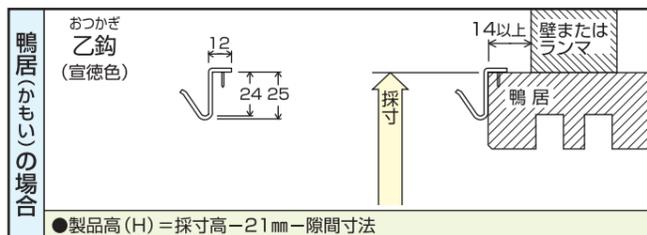
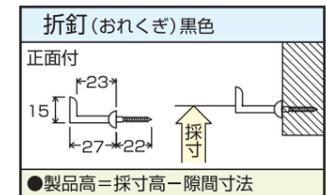
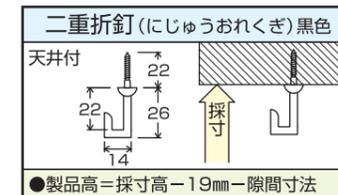
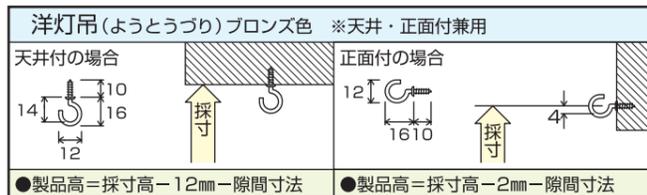
例) 取付高1800/洋灯吊/天井付の場合
◎製品高(H)=1800-12(洋灯吊)-15(隙間寸法)=1773
※腰窓などの場合は、隙間寸法を差し引かない場合もあります。

■採寸方法② / 取付金具、オプション取付金具



◎取付金具寸法について

取付金具のサイズと、差し引く寸法は異なります。これは取付金具の厚みによるものです。そのため差し引く寸法は、取付金具のサイズよりも小さくなっています。



●取付時・取付金具の注意点

- ①菊座折釘は正面付用となります。取付は、キリなどで下穴を軽く開けた後、当て木・プラスチックハンマーなどで、まっすぐに打ち込んでください。
- ②洋灯吊・折釘・二重折釘の取付は、キリなどで下穴を軽く開けた後、最後までまっすぐに捻じ込んでください。
- ③取付金具は木下地用です。金具を取付する箇所が荷重に耐えられるかどうか十分考慮してください。決して石こうボードなどには使用しないでください。